3月19日（日本時間20日）、アメリカ・ワシントンのホワイトハウスで高市首相とトランプ大統領の日米首脳会談がおこなわれました。国連憲章と国際法を乱暴に踏みにじったイラン攻撃にアメリカの同盟国からも協力しないとの表明が相次ぐなか、会談は注目されていました。

高市首相が、「世界中に平和と繁栄をもたらせるのは、ドナルドだけだと思っている。諸外国に働きかけて、しっかり応援をしたいとの思いを伝えに来た」と最大級の賛辞を送り、目を覆うばかりの対米従属と卑屈さをあらわにしたことは、恥ずべきことです。

アメリカの先制攻撃に抗議もせず、「イランの核開発は許されない」と一方的に非難した高市首相の言動は、「法の秩序」「法の支配」を求めてきた国際社会に背を向けるものです。

声明
対米従属と卑屈さをあらわにした日米首脳会談

アメリカとイスラエルによるイラン攻撃は、多数の命を奪い、国土を破壊し、中東全体に戦禍を拡大させています。エネルギーをめぐって日本も世界の国々も混乱し、人びとが平和と暮らしへの不安をつよめています。事態の一刻も早い解決には、「国際法を守れ、イラン攻撃を中止せよ」ときびしく迫ることです。

日本国憲法はもとより、安保条約の事前協議制度にも違反して、日本政府は、在日米軍基地からのイラン攻撃参加を黙認し、事実上戦争当事国となっているなか、高市首相はホルムズ海峡への自衛隊艦船の派遣で「法的にできることとできないことを説明した」と言います。日本に何ができると言ったのか、国民に説明すべきです。宇宙の軍事利用の次世代型ミサイル防衛構想「ゴールデン・ドーム」への協力を伝えたことも重大です。

さらに、日本国民が生活難にあえいでいる時、大統領と一部日米企業のために、次世代原子炉の建設や米国産原油の増産などへの巨額の対米投資、南鳥島沖のレアアース泥など海洋鉱物資源の開発協力などの合意をしています。これらは、温暖化対策にも逆行します。

すべてアメリカいいなりに突き進む高市自民党政治を、これ以上許すわけにはいきません。国会前や各地でも「戦争反対！　改憲反対！」と声を上げ、高市政治に抗議する行動が急速に広がっています。新日本婦人の会は、こうした人びとと連帯し、憲法どおりの政治の実現のために奮闘します。

2026年3月20日
新日本婦人の会
中央常任委員会

各地で広がる 憲法カフェ

新婦人「憲法手帳」

問い合わせは、班、支部、都道府県本部へ

「憲法手帳」これ、いいね
福島支部野田班

18日の班会は、新婦人しんぶんを読んで、憲法タイム。2月28日号4、5面の政治学者・小沢隆一さんの講演要旨「9条という『要石』をいまこそ力に」の紙面、「憲法手帳」で前文と第9条も読み合わせました。

「前文ってこんな中身だったのね」「9条に自衛隊を書き込むっていうけれど、大事なことは自衛隊を戦争に送らないことよ」「なんでアメリカに戦争しないでって言えないのか」「高市さん、訪米して自衛隊派兵の約束をしてこないでほしい」と情勢と合わせてヒートアップ。さらに話は、次世代との対話についても。

「戦争がゲーム感覚になっているのかな？　人と人のつながりが薄くなっていることも気になる」「バイト先で若い人と話すと、高市首相が『なんかやってくれそう』と思っている人が結構いた。まだ高市さんがやろうとしていることが見えていない。改憲や防衛増税のことを可視化していくことが大事」「でもそれをできる人ばかりじゃないよ」「うーん」「本来、憲法を守るべきは政治家の方。憲法の本当の役割を知らせていきたい。私が死んじゃう前に（笑）」

おしゃべりしていたら、あっという間。新婦人の「憲法手帳」を手に、これいいね、毎回、条文を読んでいこうか、と締めくくりました。

毎回読んでいこうか

毎回新しい発見が
岡山支部

憲法カフェの魅力は、しいの実班、トトロ班、どんぐり班合同で3カ月に1回開いている「憲法カフェ」があります。参加は10人前後。自分の言葉で憲法を語れるようになることを目標に、おやつタイムも含めて90分、じっくり憲法について意見を言いながら学び合います。

みんなで和気あいあい

憲法の視点から〝自分ごと〟でおしゃべりできる親しみやすさです。憲法前文の輪読から始まり、毎回新しい学びや発見があります。

前回は選挙前だったので、選挙制度・議員定数削減問題をテーマに取り上げました。「高市政権が憲法の精神と逆の方向に舵を切っていることがわかった」「（憲法改正の）国民投票制度について、知ったつもりでいたけど、実はよく知らなかった」と感想も。

憲法を真ん中にした学びとおしゃべりは、毎回好評で、ゲストを誘って、入会もあります。次世代会員のグループでも憲法カフェが始まります。みなさんもぜひ！

【訂正】3月21日号2面の写真説明で、「高知市支部」は「高知・佐川支部」の誤まりでした。「四条畷支部」は正しくは「四條畷支部」でした。

女性ニュース
2026. 3. 28

家賃高すぎデモ

高騰する家賃への対策を求め、「家賃高すぎ。何とかしろ！」デモ（住まいの貧困に取り組むネットワーク、首都圏青年ユニオン）が、14日、東京・新宿区内でおこなわれ、約200人が参加。繁華街に「家賃が高くて暮らせない」「住まいは人権」とコールを響かせ、沿道からも共感のかけ声、列に加わる人の姿も。

春闘大幅賃上げを

18日、自動車、電機、鉄鋼・造船重機の大企業49社中32社が春闘回答で「満額」以上と回答したが、4年連続マイナスの実質賃金がプラスに転化するか予断を許さない。

重税反対各地で

「消費税が生業をつぶしている」―3.13重税反対全国統一行動が13日を中心に、全国500カ所以上でとりくまれ、「消費税は一律5％に」「インボイスは廃止に」「軍事増税反対」と声をあげた。

従来保険証7月まで

厚生労働省は19日、マイナ保険証が浸透せず、医療現場の混乱を避けるためとして、有効期限が切れた従来の健康保険証でも保険診療を受けられる措置の期限を7月末までに延長すると発表。

「避妊の自由」初判決

女性の不妊手術に制限を設けるのは、自己決定権の侵害、憲法違反と訴えていた訴訟で、東京地裁は17日、幸福追求権を定めた憲法13条は女性に「避妊の自由」を保障し、母体保護法の規定は合理性に乏しいとの、初の司法判決を下した。一方、不妊手術規定の違憲性が認められず原告は即日控訴。

飢餓人口過去最多へ

世界食糧計画（WFP）は17日、イラン戦争が続けば今年中に危機的な飢餓に直面する人が約4500万人増え、世界の飢餓人口が過去最多の3億6000万人に達する見込みだと警告している。

国会スポット

■衆院議員定数削減、自・維が合意
高市首相は18日の参院予算委で、維新の吉村代表と衆院議員定数45削減の方針で合意したと明かした。首相は「身を切る改革」と言うが、実態は少数意見を封殺する暴挙。

■安全の保証置き去り再稼働　18日の参院予算委で岩渕議員（共産）は、福島で関連死が続く現状を挙げ「事故は終わっていない」と原発再稼働を批判。規制委が安全を保証できないと認める中、首相は「政府の一貫した方針」と再稼働推進を強弁した。

■社会保障改悪NO！　18日、中央社保協などが介護従事者の処遇改善を求める請願署名31万4751人分（通算。うち新婦人1万3806人分）を国会に提出。19日、保団連が呼びかけた国会前集会に150人が集まり、高額療養費引き上げ、OTC類似薬負担増の撤回と声をあげた。